

安全にお使いいただくために必ずお守りください

注意 口傷害事故を防止の為、作業機を装着する場合には下記事項を必ず守ってください。

- 口トラクタを平たんで広い場所に置く。
- エンジンを止め、駐車ブレーキを掛ける。
- 装着する位置で作業機降下速度調節グリップを「固定」の方向にしっかりと回し油圧を確実にロックをする。

注意 装着または注意等に関する事項は、トラクタ購入時に備え付けのロータリ取扱説明書も合わせて必ずお読みください。

■用途 あげ際のうね作り・溝作り(アゼシート設置)

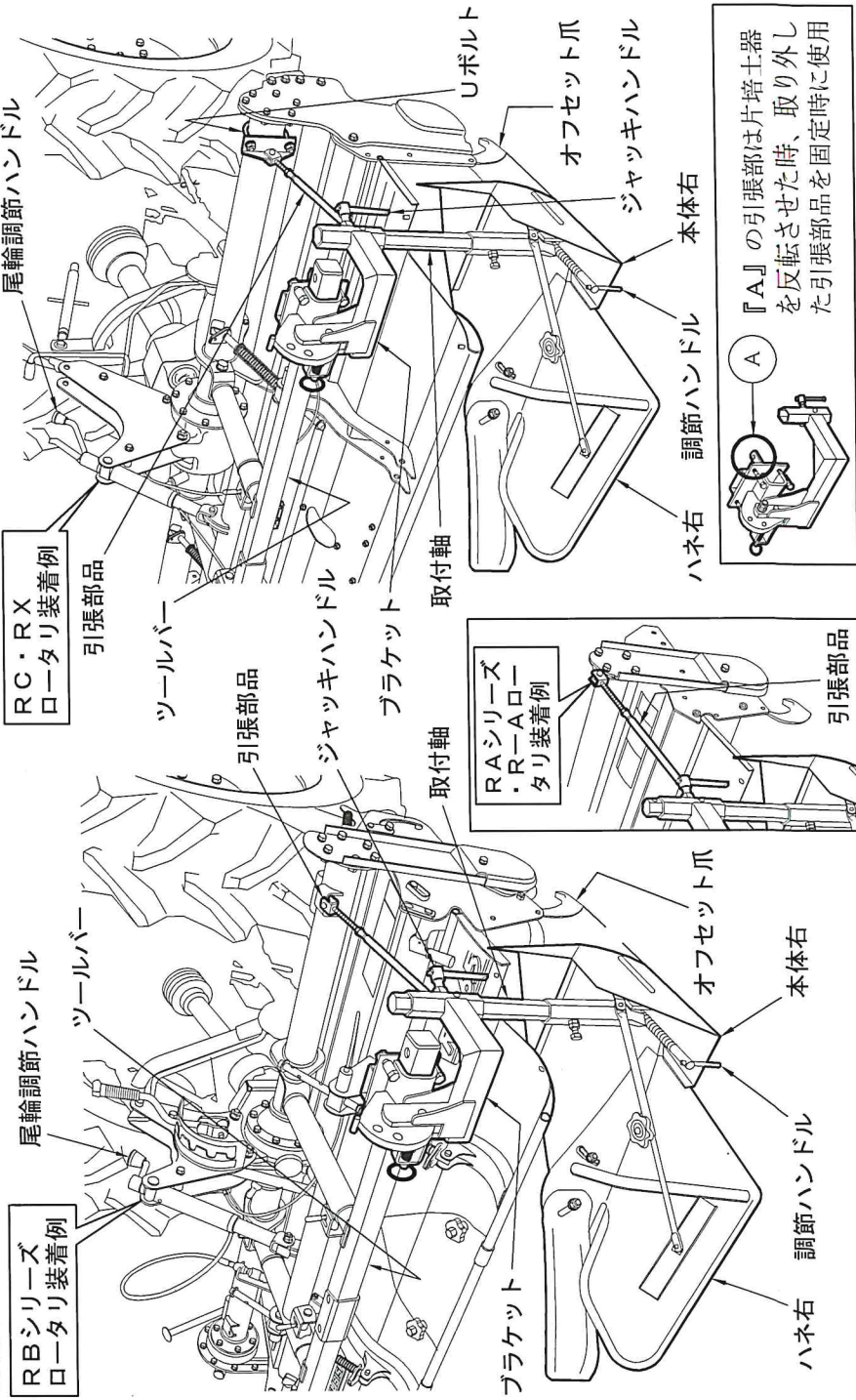
■型式表

作業機名称	型式名称	コードNo.
反転式斜め片培土器右CMP	FNRI12-RB.RX	32521-12400

■装着要領

- ①フリップレバーは耕うん位置で、ミッドカババーは上穴にセットします。(RBロータリ)
- ②ロータリの右隅の2個のノブ(RC・RXロータリは蝶ナット)を外し、リヤカババー及び右側のサイドカババーも取り外します。
- ③ロータリカババーを最上まで上げ固定します。
- ④ツールバーの前後位置は、RJ・RA・R・A・RBZシリザーズロータリ/RBシリザーズロータリ/RC・RXロータリともに後ろから1番目又は2番目の穴にセットします。(図1参照)
- ⑤ブラケットをツールバー右側に取り付け仮締めをし、片培土器の取付軸を下方より差し込みA・RBシリザーズロータリは取付軸上から3番目、RC・RXロータリは2番目でピン穴とブラケット側のピン穴を合わせ丸頭ピンでセットしジャッキハンドルで固定します。(図2参照)
- ⑥本体の側方位置は、ロータリの外側爪(オフセット爪)と片培土器本体外側面が同じ線上にくるようにブラケットの位置を調節し、確実に締め付け固定します。(下の装着図参照)
- ⑦ロータリカババーを下げます。(固定しないフリーの状態)
- ⑧本体上下位置は爪の非深に合わせ、水平又はスキ先がやや上を向くよう尾輪調節ハンドルや片培土器の調節ハンドルで調整します。
- ⑨引張部品を各ロータリ型式用に取り付けをし緊張してください。(下図を参照に)

■装着図

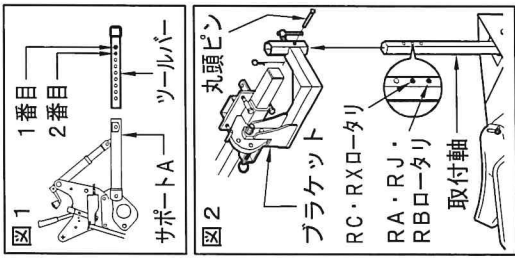
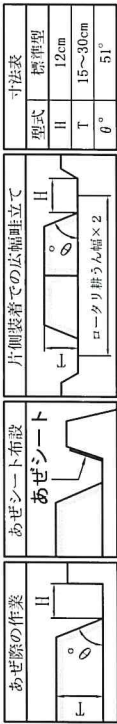


注意 口耕うん作業を行う場合、下記の注意事項を必ず守ってください。

- ①土質の硬い圃場や未耕地では、片培土器をロータリの耕うん幅より外側に取り付けて作業をしないでください。
- ②トラクタのオート切換スイッチを「切」にして作業を始めてください。
- ③作業機を着脱するときは落下による怪我をしないよう、作業機から手を放さないでください。

■適応ロータリ RJ(V)・RA(V)・R-A(V)・RBZ・RB(V)・RC・RX

■作溝断面図



口お願い ・ご注文いただく際にはトラクタ形式及びロータリ形式もあわせてご明示ください。
 ・取扱説明書は仕様改良のため、予告なく変更することがあります。